

1. デフレーション デフレの話は、前提の違いで話が合いません。自利を最大限出すというスタンスの視点では

どうなのかが正解なのでしょうか。普通の考え方(?)で先生の考えが奇手という感じが。

人は物を買えば金が増える。金が増えれば物を買えば金が増える。お金の増えをサービスを受けるのは当然だと思いがちだけれど、そういうことがデフレの原因の一部かもしれないというの考えもついていた。

自分の仕事は高く、相手の仕事は安いという考えは、ちがって同じ。

バイトの時給は上げたい。物価は安くしてほしい。デフレの中で自分だけはお金が欲しい。金が増えれば物を買えば金が増える。お金の増えをサービスを受けるのは当然だと思いがちだけれど、そういうことがデフレの原因の一部かもしれないというの考えもついていた。

電車に感謝なんて考えたことはありません。

電車にも感謝している。電車は僕らの生活を支えている。電車に感謝している。電車は僕らの生活を支えている。電車に感謝している。電車は僕らの生活を支えている。

デフレは人間の「自利のせい」という考え方。自利のせいという考えは、ちがって同じ。デフレは人間の「自利のせい」という考え方。自利のせいという考えは、ちがって同じ。

まず、何が正しくて何が正しくないか、は、検証しても正しいとは言いきれない話と似ていると思います。

また、学問の基礎がどこにあるかは、学問によって異なりますので、考え方の違いは致し方ありません。むしろ、皆さんは分野の違いを吸収し、LA的な見方を身につけてほしいと思います。

ただ、この題材を講義で扱って、過去に「私たちの努力でデフレは解消できると思った」とコメントしてくれた

人がいました。社会の問題を人事と思わず、自分の問題として考えることができる学生さんを素晴らしいと思いました。悲しむことだけではなく、皆さんの自発的な行動が社会を変えたら素晴らしいと思います。他の人の労働に感謝することからデフレが解消できたら、と、私は思っています。

(この考え方もシンクロしているといいと思います!)

2. 放射線

放射線についてですが、先生が「私たちは見えない鉄砲でバンバン打っているんですよ」とおっしゃられた。鉄砲はあんなに危険なものはない。放射線は目に見えない鉄砲でバンバン打っているんですよ。鉄砲はあんなに危険なものはない。

放射線の副読本に載っていた手の症例写真が衝撃すぎて、直視できなかった。

自身の体を破壊する物質が入ってくる感覚は、考えたくもありません。

何万年も放射線を出し続けるものを管理できないのに、なぜ作ってしまったのだろうか。

放射性同位体が健康をどれだけ害するかわかると知り、怖いと思いました。

そして原発の危険性をわかって使っている国、きちんとした知識もなく当たり前使っている国民はもっと怖いと思いました。

人類は超意味不明生物で、頭がよくて新しい物を作ったり、發明したり悪いことをしたりが、一歩間違えばコントロールできないものがでてしまうのが、よくよくと改訂して思いました。

プルトニウムはくたんという言葉と聞いたことがあり、今日の授業で「プルトニウムが」長崎に投下されたのが、プルトニウム型の原爆です。

ついでに一つ言葉を覚えましょう。「Bq(ベクレル)」です。ある土地に1万ベクレルの放射能があるということは、その土地から1秒間に1万発の見えない鉄砲の弾が出ているということです。ベクレルは、1秒間に発射される弾丸の数と思っていいでしょう。

その小さな弾丸が分子を壊し、遺伝子を傷つけた結果です。

単純に無知だからでしょうね。誰が無知なのか。政治家? 科学者? 少なくとも、国民全体で知識が不足しているのは間違いないと、私は思います。きちんと理解した上で使うべきではないでしょうか。

物理学の講義で、原子爆弾の話をしたら、普段、それほどノートをとっていない学生が、必死に書いていました。もしかしたら、人間の特性なのかもしれません。

期末試験

- ・範囲: 全部
- ・持ち込み: 不可
- ・日時場所: 2015年1月15日(木)3限 S101(の予定)
- ※ 第15講 2015年1月22日(木) 3限
- テスト返却とまとめ(授業評価アンケートも)

3. 原子力発電

ニュースで「原子力発電反対」とか言っている人たちはよく見たが、その人たちは、原子力発電を辞めることでその負担は火力発電にうつるから分かってるのか? として、その火力発電は、環境問題に強く関連し、材料は石油も、残りぬきかたのをしっかりと理解しているのか?
私は、環境問題と全く考えずに、人の死ぬからという理由で反対してはいけないと思う。そんなことを言ったら、環境の悪化によって、大量の他の生物が死んでいるのだから...

私は原子力発電を作った時点、負の連鎖が行ったのだと思、いまも人間が作りだした「アノモノ」だ、たのしみもありません。原発が一時止まることはいいが、私は通常通りに暮らして、それなのに、なぜ復活してしまっているのか、私は全く理解できていません。
日本の中に入ったとしても、危険なものなのに、日本はなぜ原発を作ったんだ? という疑問に思った。

原発について、私は基本的には反対の立場であることは、講義を通してなんとなく伝わっていると思います。その中で、原発存続の意見を書くことはとても勇気のいることだと思いますし、その理由を情熱を持って書いてくれたことに感謝します。私自身が大学生の時にも、「人類が絶滅しても地球の環境が保たれることの方が大切である」と、チラッと書いたこともあります。一方で、原発に断固反対と考えている学生さんもいます。討論会をしたいところですが、講義では難しいですね。

ただ、少しだけ指摘したいことがあります。例えば地球温暖化防止や生態系の保持について、野生生物のために、ではなく、人類が生き続けるために、と多くの人が言っています。「人が死ぬから」は極めて重い理由です。もう一つ書き加えます。火力にする原子力にする、社会生活を人がする中で、誰もが他の人や自然に負荷をかけます。それでも私には生きていく価値があると思うし、他の人も価値があると思います。その意識を大切にすることを出発点にすべきではないでしょうか。

青森県六ヶ所村ですね。廃棄物処理と、将来的には、私は青森出身で私の県には他県で作られた核のカスを保存する場があります。この放射線量は微量であり、人体には影響はないと言われて、村がもし爆発したらどうしよう、という気が持てた。その場所の周辺の物価を安くして、現在住んでいる人々には色々な保障されていると言われていますが、この社会はおかしい、おかしいと思います。

私の実家の近くは茨城県にあるので、今回の原発事故はとて人災とは思えません。私たちはほとんど放射線について知らなければならぬと思います。今日の授業は原子力の話でしたが、私は3月11日の東日本大震災の月に南相馬市にいました。それまで原子力発電に反対して考えたこともありませんでしたが、初めて「怖い」と思いました。

ここに載せたコメントは、「地元だから」「近くにいたから」感じた、それでも感じなかった、というものです。逆に、地元で原発がなければ、私たちは何も考えなくてもいいのでしょうか。3.11の前、地元で原発がない私たちも、携帯電話、テレビ、パソコン、信号機、照明などを使っています。その電気の25%程度は原発で作られていました。

私、地元は原子力発電所が多くあり、少し事故も過去に何度ありましたが、特に何とも思っていなかった。東日本大震災の時に全くゆれが原発が崩壊したと遠くともあり、他人ごとだと思っていました。

もちろん、福島で反対活動をしている人もいました。でも、ここで考えたいのは、むしろ傍観していた私たちです。電気を使っていたのは私たちなのに、反対活動は福島の人々に押し付けていいのか。例えば、桜美林大学の敷地内に原発を作ろう、皆さんの住んでいるところの近くの公園に原発を作ろう、となったら、どうでしょうか。

福島の方々は、その後、原発に対して否定的なことを言っていました。原発の説明は受けなかったのか、あの解説などを聞いて当時、反対はしてはいたのかと疑問に思いました。知識を得るということも大切だと思っていました。
原子のお話を聞いて少し原子力発電所のあひなせも知ることができました。私達は他人ごとだと思いきや、まかせにしている部分があると感じました。自分の将来のことなのでも、と知識をついていくべきだと思っていました。

私も福島の人間ゆえに少し自分自身で考えてたが、それよりもむしろ頭の中で大きく考えたり思いました。ぜひ考えましょう!
あるいは、福島の人ではなく、科学者に押し付けられるのか。それが今回の講義のテーマです。

東海村も今日初めて知りました。知らなければ罪というのか、こういうことを分かって、家に帰って放射線についてのプリントをしっかりと読むのと思います。

今回の講義はとて考えさせられるものでした。私は、3.11以降はじめて原子力について知りました。それと私は知りたかったし、目を覚ましていたのかもしれない。LP2 今回、相模川が干上がったことで、DF-SRのコンクリートも干上がりました。

被ばくした手の写真を見てかわいそうと思いましたが、私かしたら自分にも責任がある、とこれからは考えようと思います。

東海村の事故は、原発ではなく、原発の燃料の加工施設での事故でした。経緯は複雑ですが、やはり、私たちに責任が無いとは言えないと思います。

セシウム、ストロンチウム、プルトニウムはニュースなどでよく聞いていて、危険だと分かってはいたけど、体にどのくらい影響をもちますのかまで知らなかった。

ストロンチウム、セシウム、ヨウ素、プルトニウムは体に悪い物質であり、命を脅かす物質だと知らなかった。

ヨウ素、セシウム、ストロンチウム、プルトニウムは原発事故以来、知っていました。体に入りこみ内側から体を壊すというのは知っていましたが、カルシウムやカリウムと似ているから、というのは驚きました。

まず、危険なのは特定の同位体です。誤解の無いように。体を作る原子と同じような原子だと、取り込まれるわけです。

4. 学ぶこと

私は東北の支援を行っている学内団体に入っているため、今日のような話はとても
参考になる良い話でした。好き好きではなく、知ることがなければならぬことに。

皆さんの勉強するぞ、
という宣言です！

今日の授業は、まさにそういう授業だと思いました。
原子的分野は確かに少し苦手な印象を持っていた。しかし、今日の講義で圧倒的に
知識が足りないことがわかったし、もっと様々なことを知りたいと感じた。

今日の授業で私自身もどなたか「ニュースなどを意識していないか」と
いうことを思い知らされました。
中学では計算レベルの授業だったので、今日の話で知らないこととか、学んだこと
がたぶんありません。原素に関係しているということは、全然知らなかったです。
先生の話を聞いて、嫌いな言葉とか知らない言葉はなく、知ること、知っていない
いけない。この大切さに改めて気付かされました。

今回の講義はどれも考えさせられるものだった。私は、3.11以降
はじめて原素について知りました。それまで私は何の知識も
しなかったし、目を背けていたのかもしれない。けれど、今回の
授業は、ありと知ることができた。O.S氏の授業は、
とても楽しくなりました。

「この先生は好きじゃないから勉強しない」、というよりは学生、たくさんいます
よね。高校生の頃は、自分を誇りに思っていました。それが今は。

高校生の頃、原素の範囲が広くて苦手でした。その時は、まだ若かったせいもあり、
嫌いなもの、苦手なものは、勉強はかかっているというスタンスでした。でも、嫌いなから
苦手なからと言って、勉強しないのは、お門違いだということも先生に教わったので、
お礼わからずとも、嫌いなから、頑張ってノートをとって勉強しました。

そうですね。大人になるということには、
やりたくなくてもやらなければならないこ
とをやる、も含まれていますね。

自分も、何故この勉強を、1.7以降のことかということをし、1.7から、授業にのめり込んで、
勉強した。

東海村も今日初めて知りました。知らなければ罪というのは、今日の授業を聞いて、「知らないは罪」という言葉を思い出しました。
こういうことを自分で学べ。家に帰って放射線についての原素力についても色々考えたいと思います。

放射線 同位体は、きっと私たちがニュースで聞いたことのある物質だとはず
なのに、今日、バグミが来て思い出せませんでした。それに意識したことがなかったの
だと思えます。そこで先生に以前言われた知らないは罪だということ思い出しました。

プリントをしっかりと読むのをお願いします。
「知らないことは罪」とは、ここに載せた
学生さんの言葉でした。休み中に冊子は読
めましたか？

好き嫌いはなく、もっともっと私たちが進んで学んでいかなければならないものが

ゆとり教育で良かったと思う部分もあつたが、やはりゆとりなので自分が
甘いと思部分が多くなっていることに気がしました。

タカハシの今日の授業で改めて痛感しました。

正直、私は物理が、化学が嫌いなので、そこで興味を失く、おぼろげなままおぼろげに生きてきた。

自分には興味はないと思っていました。でも、その後の生活は、おぼろげなまま生きてきた。

放射線をまわると何か大したものが知りたがり、たのび、知りたがることか。

今後の核問題についての興味か、好きです。全然自分とは関係ないと思
いながら、しっかり考えています。

物理学は、これから大したことになる私たちが、知ることがなければならぬ

知識を感じました。特に今日の話題の原素について、

放射線が「人に与える影響」を知りたい。先生、さういって、
「もったいなく学んで、1.7以降、でも理解できないことだ、たくさんありますね。」

これからは、新しいことを学んでいきたいと思います。

放射線は、やはり怖いものだと思います。もっと放射線について
知ることが、感じました。

原素についてどう思うかというインタビューをテレビで見ましたが、ほとんどの人は、組
みや危険性をよく知らずに、他に方法がないからと答えていました。私も
詳しく知らないことに罪悪感を感じます。

3.11から3.15まで、3.15から3.15まで、3.15から3.15まで、3.15から3.15まで、
（ほとんどの学生が、多くを驚いた。ニュースで見たことが、繰り返して流れていたのに、知らず。）

東北大震災での出来事は、もちろん知っていましたし、挙げられた物質も何に関連した
ものかも知っていました。しかし、どの物質がどんな効果、潜伏期間なのかはほとんど知
りませんでした。痛感しました。

チェルノブイリで原発の恐怖を知っているのに、もがかわらず、日本をほとんど無視着
たまま、思うまま、今日の授業は、社会的に大切なことを教えてくれました。

この講義を受ける前と後では、
皆さんは変わると言ってきました。
おしる正確には「変わらな
なければならない」という自覚を
持ってもらえると思っています。
2011年の原発事故は、住民に
多くの負荷をかけ、今でも大変
な思いをしている人がいます。
しかし、そのために、今は世の
中に放射線にかかわる情報が沢
山あります。ぜひ、しっかり勉
強してください！

「これだけ報道されてきた
のに、皆これしか知らないの
か!？」という感想はもっと
もでもあります。福島第一原
発だけではありません。指摘
があるように、チェルノブイ
リでも甚大な被害が出ていま
す。多くの子供たちが甲状腺
の切除をしました。多くの村
が放棄されました。それでも、
がんの発生率の高い地域があ
ります。

自分は小さい頃からウランマンを見て、放射能は危険な物だと知っていたので、チェルノブイリ以前の話として、広島長崎の原爆投下がどのような影響を与えたのか、それを私たちはどれだけ認識しているのでしょうか。毎年毎年、原爆の日には式典が行われます。それでも、原爆投下の日さえ言えない日本人ばかりです。

私は放射線は小学校の頃、ドラマか映画ではたしのゲンを見て知りました。その時に私は放射線について全く知りませんでした。そして中学の修学旅行で広島に行き、とても勉強になりました。

「これだけ報道されてきたのに、皆これしか知らないのか!？」という感想はもっともでもあります。しかし、それは、ここにいる皆さんの責任とは言いきれません。それは、こうしたことをきちんと認識させるような教育が、小中高で行われているとは思えないからです。

「学ぶことは楽しい」という命題は、人によって正しいでしょう。人によっては楽しく学んでいます。ところが、それがいつの間にかエスカレートして、「楽しいから学ぶのだ」「学ぶ意味は楽しいことにある」となると誤りです。(この点について、本学のほかの教員と私の間で議論になっています。)

高校2年生(2011年)の時に、櫻根先生の物理の授業、担当の先生が元々あの授業の予定を変更して、放射性物質についての授業を行ったことがあった。世の中に放射線の情報があふれていたもので、私の担当する物理学概論では必要ないと思っていました。しかし、思い直して、放射線の話をもっと取り込みたいと思っています。

5. その他

授業中に先生の友達の名前をアトム君とウランちゃんだといっていた。私と母親、同級生でもアトム君ウランちゃんだいたそうぞう。珍しい名前なので、友達の友達の名前も、ふもしれないですね。

ナノウレい、ヒコウレいには笑、おもしろい。でもナノウレいって「X-ray」感謝していいことと「すなね(笑)」
「ぶん」使ったことはないと思、ナノウレいは使ったことある。

原子番号53のヨウ素というのは、小学校の理科の実験で使う、ビュンペンに反応して紫色になる。あのヨウ素液と何にか関係があるのでしょうか? 偶然名前が似ているだけですかね?

原発問題後に「ソジン(ヨウ素)を飲む」というのがありましたが本当ですか?

後から放射線のヨウ素が入ってきても甲状腺のヨウ素が満杯になって取り込まれないだろう、ということのようです。だから、原発事故に関連して「安定ヨウ素剤を飲むかどうか」が話題になりました。ただし、被曝直前、被曝直後でないとも効果がありません。ソジンにはヨウ素が含まれていますが、飲みものとして作られていないので推奨されよう。原子や原子核や元素の周期表は中学生の時に勉強したことがあると、もの凄く時の流れを感じた。過去の話にしないで

先生が最後に、おもしろい映画の話は、刊社と社会という授業でも少し映像をみせた。複数の人から桃井先生の「オンカロ」は聞いたことがありません。桃井先生の講義で取り上げられました。先生の講義を教えてくださいました!

おんかろについて桃井先生のリスト教をやりました。先生は写真家でもいらっしゃる、荊冠堂の1階(地下)に写真が展示されています。興味のある人は見に行ってください!

化学物質の組み合わせが体内に入ったとき、どんなことが起こるか? プラスチックが溶けて体に取り込まれることが絶対にない、という確証があれば大丈夫でしょうけど、20年前にそんなプラスチックは無かったので、誰も実験して無いですよね。

どのだけあるんだと思、1ヶ月以上も、体内の中にプラスチックが入った。20年後くらいに体内にいっきりあるかもしれないと言、先日の虫歯のちりょうで、歯にプラスチックを入れたのと同じくらいになった。

教室に1トを、これくらいは前の先生たちも知っていたこと。それって大人な考え方だと思います。T」とき、後輩のたかには、さくらからなると思、ぜひしっかりしていきましょう!